

浜 地区 地区防災計画 (地震・津波)

平成 30 年 10 月作成

浜 地区 地震・津波対策がんばる地域宣言

『自らの命を守り、仲間の命を守る』

そのため地域では、

- ・我が家の防災計画をつくる
- ・我が家の防災計画を共有
- ・実現のために当局に積極的に働きかける

といった取り組みを、できる範囲で、地域のみみなでがんばっていきます。

いざという日のために備えておく普段の取り組み

視点	単位	取り組み	目標	備考
共生する	家庭	☑ 地震・津波による被害状況への理解	全住民理解 (76 人)	
	家庭	☑ 避難時間の計測	全住民計測 (76 人)	
	家庭	☑ 海のまち安全確保エリア、 海のまち安全創出エリアの理解	全住民理解 (76 人)	
	地域	☑ 避難訓練の企画・実施	年 2 回	9月、2月
逃げる	家庭	☑ ブロック塀の耐震化	全世帯実施 (5 世帯)	市補助活用可
	家庭	建物の耐震化	全世帯実施 (10 世帯)	市補助活用可
	家庭	☑ 家具の固定	全世帯実施 (33 世帯)	市補助活用可
	家庭	☑ 津波避難のための装備の準備	全世帯実施 (33 世帯)	
	地域	☑ 避難路・避難場所の点検・管理	年 2 回	
	地域	☑ 避難所や防災倉庫の点検・管理	年 2 回	

いざという日に備える地域の取り組みルール

避難行動の考え方(反射的に動けるようになることが理想!)

大きなゆれがきたら...

自力で避難できる人 避難する

避難に支援が必要な人 外に出る

地区の避難先や備蓄をしている施設

施設名	資機材名	数量	単位	備考
避難場所 (タワー)				
避難所 (峰)				
備蓄倉庫 (峰)	テント 食料 水 その他			

浜 地区 避難後に必要となる行動

避難直後の状況	避難後の行動	備考
高台避難	<ul style="list-style-type: none"> ・いない人の情報を集める。(学校にいる、旅行に行っている、職場にいる 等) ・人員確認。情報収集。 ・避難所に集まった人の様子を見て、飲み物の配布、簡単な怪我の治療、体調の把握をする。 	
地区の人の集合	<ul style="list-style-type: none"> ・様子を見て峰下(中央農道)に集合する。 ・地区民の人員の確認、体調の確認をする。 	
市・支所との連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・(できたら市・支所と連絡をとる) 	
いる人達で必要な班づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・食事班・テント設営班・情報収集班・介護班・保健班・搜索班など。 	
搜索開始	<ul style="list-style-type: none"> ・(2次災害が起きない状態になったら)ネット・ラジオ等で情報を収集する。 ・行方不明と思われる人の搜索に入る。(メンバーを選ぶ、危険、精神的苦痛 等) 	
小土肥の避難場の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・安全を確保し、農村公園に行き、小土肥の避難所を設置する。 ・黒根、入谷とも連絡をとる。 	
体調のよくない人に	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な家があったら、体調のよくない人の引き受けを依頼する。 	
タイミング・条件		